

2 月度理事会議事録（2025 年 2 月 11 日（火）開催）

1. 会長報告（1 月 14 日（火）～2 月 10 日（月）出席案件）
 - 1/14（火）日本人会・理事会 於：本館
 - 1/14（火）理事会メンバー新年会 於：えぞや
 - 1/14（火）Japan Expo プレスリリース 於：Central World
 - 1/17（月）Amata 50 周年記念パーティー 於：アマタスプリングカントリークラブ
 - 1/18（土）サイアム高島屋・三重フェア 於：サイアム高島屋
 - 1/19（日）日本語弁論大会 於：大使館
 - 1/20（月）OJSAT 新年のご挨拶 於：本館
 - 1/20（月）サンコー武田様・川村様 面会 於：本館
 - 1/22（水）大使公邸・新年懇親会 於：大使公邸
 - 2/1（土）もちつき大会 於：別館
 - 2/4（火）日本映画祭オープニングセレモニー 於：House Samyan
 - 2/5（水）小池都知事ご一行夕食会 於：大使公邸
 - 2/7（金）日本人会・企画推進部会及び三役会 於：本館
 - 2/8（土）JAPAN EXPO グランドオープニング 於：Central World

2. 新オブザーバー（報道代表）紹介・挨拶
藤原豊秋オブザーバー（NIKKEI Inc, Editorial Headquarters For ASIA）より挨拶をした。

3. 一般報告（事務局）
 - （1）1 月度個人会員動向
入会者 109 名 退会者 84 名 現会員数 4,758 名（内、準会員 31 名 会友会員 200 名）
（前年同月 4,830 名・前年同月比 98.5%）

- （2）1 月度賛助会員
〈退会 5 社〉
 - ・Career Development Supporters Co.,Ltd
 - ・Daco Co.,Ltd.
 - ・One Origin Phrom Phong
 - ・Sardex Co.,Ltd.
 - ・WALC Design Co.Ltd

現会員数 497 社（前年同月 505 社・前年同月比 98.4%）

- （3）会員優待店
【新規店舗】
 - ・NAKA GOLF ACADEMY（フジ 2 隣）
 - ・メドパーク

現在の有効店数 79 店舗

- （4）1 月度会館来訪者数
本館：延数 221 名（実数 165 名）

別館：延数 1,499 名（実数 552 名）
合計：延数 1,720 名（実数 717 名）
（前年同月 延数 2,050 名（実数 1,092 名）前年同月比 83.9%（65.6%））

（5）会館貸出サービス

・2～3月の法人利用を紹介した。旅行会社のポップアップショップや企業の会議などで予約を頂いている。

（6）1月度寄贈報告

・現金寄付

【納骨堂カンチャナブリ基金】

徳増 尚子様より 1,600B を納骨堂カンチャナブリ基金にご寄付いただいた。

【チャリティー基金】

1名様より 5万B をチャリティー基金にご寄付いただいた。

・本の寄贈

菅原香織様、他3名様より、合計37冊寄贈頂いた。

（7）1月度会計報告

- ・1月度収入は、128万バーツ（前年同月 139万バーツ 前年同月比 92.0%）
- ・1月度支出は、194万バーツ（前年同月 174万バーツ 前年同月比 111.6%）
- ・単月収支は、-65万バーツ（前年同月 -34万バーツ 差額 -31万バーツ）
- ・累計収支は、163万バーツ（前年同月 153万バーツ 差額 10万バーツ）

（8）その他報告

・2月の主な会議日程と各同好会・部会など主な行事日程を確認した。

4. 後援名義・ロゴ使用申請（事務局）

対象事業名：セレッソカップ

- ・開催日：2025年2月16日（日） 於：Yamaoka Hanasaka Academy
- ・主催：セレッソ大阪サッカースクールバンコク校
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力

→異議なく承認された。

対象事業名：WORLD MENTAL HEALTH CONFERENCE & RETREAT2025

- ・開催日：2025年4月24日（木）～27日（日）
於：The American School of Bangkok Green Valley
- ・主催：Foundation for Human Development、Mindfulness Academy of Asia
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力

→異議なく承認された。

対象事業名：第26回世界相撲選手権大会

- ・開催日：2025年9月13日（土）・14日（日） 於：Rangsit University
- ・主催：Sumo Association of Thailand
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力

→異議なく承認された。

5. 準会員申請（事務局）

・Tuntapat SIRIKUP 様

→1 名様より準会員申請があり承認された。

6. （承認事項） 婦人部の廃止について（婦人部/事務局）

・2024 年度をもって婦人部を廃止としたい。

【経緯・背景】

・従来は各社の奥様会の代表が参加し、婦人部の活動（イベントの実施・チャリティーバザー運営など）を行っていたが、各社の奥様会が廃止される中、担い手が減少し、帯同配偶者の動員もできなくなってきた。同時に、女性だけに限った名称も時代にそぐわなくなってきた。

・イベントについては、事務局を主体とした企画推進部にて吸収、バザーや、餅つき同様、その都度、必要に応じてボランティアを募集する体制にする。

・企画推進部発足当初（2018 年 6 月）から、婦人部の発展的解消と、イベントを中心に、企画推進部への移管については、検討事項であった。

・これまで婦人部にて実施していた一部イベントを 2025 年度からは企画推進部のイベントとして引き継ぐ。引き継ぐイベントはウェルカムパーティー、ジムトンプソン博物館見学などの会館外ツアー、フラワーアレンジメントなどを計画している。

・部の新設・廃止について（日本人会規約）

第 17 条 1. 本会に、本会が必要と定めた各部、各委員会、事務局を置く。各部、各委員会、事務局は本会の目的に則した運営基準を設けその業務を促進する。

各部及び各委員会の新設、廃止、統合については、理事会の承認を得て行う。(2001 年 4 月改正) (2014 年 4 月改正) (2018 年 4 月改正)

→婦人部の廃止について異議なく承認された。

7. （承認事項・情報共有） 2024 年度チャリティー基金・承認報告（チャリティー基金運営委員会/事務局）

・2024 年 11 月 15 日（金）～2025 年 1 月 5 日（日）まで寄付先公募し告知をした結果、13 団体から 14 案件の申請があった。2 月 7 日（金） 第一回チャリティー基金運営委員会にて議論。寄付先を選定した。

申請額の合計は、137 万パーツとなった。新規の団体としては、メーコック財団・ソーシャルカトリックセンターの 2 団体より申請があった。また、クロントイ幼稚園は、運営主体は過去から継続しているが管理者が代わり、2019 年以來の申請であった。クロントイ幼稚園については、サッカー活動の支援と、施設修繕費支援の申請があったが、優先度の高い施設修繕のみとした。バームロムサイからは、複数項目の申請を頂いたが重点的に支援が必要な事業を確認しているので、次回の理事会での報告（又は承認）案件としたい。

（熊本チャリティー基金運営副委員長）

委員会として 1,119,800 パーツの支援を決定したので、報告・承認を頂きたい。内、奨学金支援が、

502,000 バーツ (45%) 活動支援 317,800 バーツ (28%)、施設修繕 300,000 バーツ (27%) となっている。

日本人が運営されている団体については、円安・バーツ高の影響でバーツが3割程高くなってきている為、タイで活動する資金としては少なくなっている。その為、奨学金・運営の申請が多くみられた。

申請金額が大きい案件としては、北タイ・チェンライのメーコック財団が洪水被害にあった学生寮の修復の為新たに申請をいただいております、クロントイ幼稚園がトイレ修繕の為申請をいただいております。

基本的な方針である1つの団体に大きく突出した支援をしないということを含め、2月7日(金)の第一回チャリティー基金運営委員会にて審議させていただきました。

・チャリティー基金運営委員会規定

1. 当基金の用途

タイ国の社会・経済の発展・向上に直接又は間接に貢献する活動を行う団体等への支援、タイ国内の福祉施設・教育機関・奨学金等の支援、並びにタイ国内外の災害等の被害者支援に資する団体等への支援に使用するものとする。(2017年3月改定)

第8項 運営委員会の任務 (ハ) 基金支出の案件の審議と決定 (2014年10月改定)

・寄付申請金額が、10万バーツ未満の案件については、委員会にて審議し、支出決定した場合、理事会にて報告する。

・寄付申請金額が、10万バーツ以上の案件については、委員会にて審議し、支出決定した場合、理事会に提案し、理事会の承認を得るものとする。

〈理事会承認案件〉

・コミュニティーラーニングセンター (旧:ワットアルン コミュニティーラーニングセンター)
120,000B (人身取引対象の奨学金生活支援 (看護学校1年間)、対象1名)

・シーカーアジア財団
109,200B (奨学金交流活動費)

・クロントイ幼稚園
150,000B (トイレ修繕費用)

・メーコック財団
150,000B (学生寮の修復工事代)

→4件ともに理事会にて承認された。

〈理事会報告案件〉

・サンファンサティパープ財団
74,000B (薬物使用によって崩壊した家庭出身の、山岳民族の子どもへの奨学金、対象15名)

・プレー盲学校
99,000B (視覚障がいのある児童・生徒への奨学金、対象33名)

・虹の学校
93,000B (高校・大学に進学した生徒たちへの学費支援)

・ソーシャルカトリックセンター (新規)
66,000B (施設で生活する子ども達への奨学金、対象33名)

・ワットリアップ育英資金
50,000B (日本人納骨堂があるワットリアップ育英資金への寄附、対象者170名)

・チャンタミット社
75,000B (8月に実施するワークキャンプの参加者への交通費の補助、対象者35名)

- ・アーキどこでも本読み隊
- 93,600B（移動図書用車両2台のガソリン代とメンテナンス代）
- ・ホワイトキャンバス
- 40,000B（ワークショップ開催時の画材費用の支援）

【主なご意見】

石井理事：

コミュニティーラーニングセンターのような一人に対しての奨学金は、ワットリアップ育英基金や他の奨学金の全員配賦に比べて不公平感はないか。

熊本理事：

こちらはあくまで看護助手になるプログラムのパッケージの支援となるが、コミュニティーラーニングセンターに関しての支援のあり方、1人か全員かに関しては来年以降また継続で望ましい在り方を協議できればと思う。

田中理事：

会員向けには会報やHPで公開しているが、会員外の方にも活動を認知して頂くための広報もできたらいい。

藤原オブザーバー：

英語で告知すれば様々な国籍の方にも知っていただける。LinkedInというSNSがおすすめである。

8.（情報共有）2025年度チャリティーバザーについて

- ・2025年度チャリティーバザーについてアイコンサイアムより、2024年より広い会場（SUPALAI HALL）を2日間無料で提供する旨、提案があった。（会場使用料：定価175万パーツを無償提供（準備日35万B 開催日：70万B×2日）、実費などは負担）そこで、2日間開催についてのアンケートを2024年度チャリティーバザー出店企業・団体36社に配信し、20社/団体より回答があり、結果を共有した。
- ・アイコンサイアム側は1日開催であった場合も会場費を無料にしていただけるとのことだが、アンケート結果は概ね2日間開催について好意的な意見が多かったことから2月7日（金）の企画推進部会議にて2025年度チャリティーバザーは2日間開催で実施することを決定した。今後はバザー内の企画を話し合う為の委員会を設置し、また、出店企業・団体は2日出店・1日出店を選択いただけるようにする。

9. 各部・各委員会報告及び提案等（発表順）

（1）教育部（田中理事）

- ・1月16日（木）に日本人会別館にて「はじめての英検」講座を開催した。講師はコミュニティ英会話の枝雄二氏。26名に申し込みいただき、当日は20名にご参加いただいた。
- ・2024年度第3回英検について、4級・5級は、1月25日（土）、3級以上は、26日（日）に一次試験を開催し、合計311名の方に受験いただいた。二次試験は3月2日（日）に開催する。

（2）運動部（河村理事）

- ・1月の活動について報告した。1月26日（日）に卓球同好会が卓球大会を開催した。
- ・2月の活動予定を報告した。2月22日（土）・23日（日）に親子野球同好会がKLフレンドシップ

少年少女野球大会へ参加予定。

(3) 厚生部 (安江理事)

- ・1月の出産準備教室&すくすく会は、プレママクラス、ミュージックタイム、離乳食の会、わんぱく広場等、10イベントを開催。離乳食の会は、20名にご参加いただき、ボランティアの方のご自身のタイでの離乳食の経験を交えながら、和気あいあいとした雰囲気の中で情報交換をした。
- ・1月のメイド紹介ボランティアは、求人0名、求職6名の登録となった。
- ・1月のみんなの相談室は、「アンガーマネジメント イライラとの付き合い方」の1イベントを開催した。

(4) 文化部 (澤田理事)

- ・1月の活動について報告した。1月19日(日)にメナム句会が吟行句会を開催した。
- ・2月の活動予定について報告した。2月16日(日)に将棋同好会が日本人会将棋大会、女声コーラスがThe 33rd Annual Concert、2月22日(土)~3月2日(日)にクルンテープ写真倶楽部が写真展を開催予定。

(5) 企画推進部 (奥森理事)

- ・2月1日(土)にもちつき大会を日本人会別館にて開催し、389名(内ボランティア36名)にご参加いただいた。開催にあたり、開催諸費用として合計49,849パーツの支出となった。ご協力いただいたボランティアの皆様並びに以下のご協力・ご協賛いただいた企業様へ御礼申し上げます。

【もちつき大会：ご協力・ご協賛企業御礼(敬称略)】

サイアム高島屋、TANIO THAI CO., LTD、ヤマモリトレーディング、サラヤ・インターナショナル・タイランド、大塚ニュートラルシューティカルズ、花屋レストラン、ハーモニーライフ・インターナショナル、サスティナ・オーガニックショップ&レストラン、日本航空バンコク支店、トーケン、クルンテープ写真倶楽部

- ・1月の定期レッスンとして、1月9日(木)~30日(木)の期間に日本人会別館にてラテンダンスフィットネスを4回コースで開催し、24名(満員)の方にご参加いただいた。レッスンはJSS Star Platinum Co., Ltd.へ委託して行った。
- ・1月の定期レッスンとして、1月9日(木)~30日(木)の期間にITDA日・タイ文化交流センターにてヘルシータイ料理クラスを4回コースで開催し、12名(満員)の方にご参加いただいた。レッスンはITDA日・タイ文化交流センターへ委託して行った。
- ・1月の定期レッスンとして、1月13日(月)~2月3日(月)の期間に日本人会本館にて姿勢改善(超初級)を4回コースで開催し、11名の方にご参加いただいた。定期レッスンとしては初の本館開催となり、別館と比較すると参加人数は少なめだったが、引き続き2月も本館にて開催していく。レッスンはJSS Star Platinum Co., Ltd.へ委託して行った。
- ・2月の定期レッスンについて報告した。2月は6日(木)にソーパークーピング体験会を開催し、BeatHIIT、タイ語基礎クラス(リアルクラス)、エアロボクシング(入門)を開催中である。
- ・3月の定期レッスンについて報告した。3月は6日(木)にフィットネス体験会を開催予定。
- ・3月20日(木)に第2回となる賛助会員企業向けの日本人会交流会を開催予定。当日は江草オブザーバーに進行いただく。

(6) 在タイ日本国大使館 (成嶋領事部長)

- ・最近 SNS などを利用し外国人がミャンマー国境付近のターク県・チェンライ県にて違法労働の被害にあうケースが多発している。ミャンマークーデター以降、国境地域は少数武装組織が支配して

おり、ミャンマー大使館、タイ大使館ともに十分な支援ができないかもしれない。被害にあう方は渡航者の方が多い。短期間で高額収入もらえるような優しい仕事はないので、このような求人広告に騙されないよう十分注意いただきたい。また、先月パタヤにて日本人の特殊詐欺グループが摘発されているので、そちらも注意いただきたい。

(7) 事業部 (神原理事/石井理事)

- ・1月の内野師の活動を報告した。ご廻向、ご供養、写経会、写仏会など執り行った。
- ・今後の予定について報告した。2月16日(日)にカンチャナブリ慰霊塔法要、3月25日(火)に日本人納骨堂春季彼岸法要を実施する。
- ・1月27日(月)に、日高(日高洋行)理事より僧房にて利用する洗濯機をご寄贈頂いた。
- ・5月25日(日)～5月29日(木)の日程にて、日本人納骨堂建立90周年を記念し、長年ご支援いただいているワットリアップの住職ら3名を高野山に招待する。高野山役員との面会を通じて良好な関係の継続を図るとともに、日本人会としてもワットリアップとの友好関係を深め、1961年以降続く管理僧派遣のご縁を確認し、日本人会として納骨堂の運営が安定的に継続することを目指すものである。5月26日(月)に高野山役員との面会、27日(火)に奈良訪問 28日(水)神戸訪問、奈良、神戸ともに元留学僧のゆかりのあるお寺への訪問を予定している。費用は納骨堂カンチャナブリ基金から充当(2025年1月末残高690万バーツ)し、総額で50万バーツを見込む。石井理事が代表として同行する。また、事務局からは村上事務局長と通訳として佐藤職員が同行。その他、費用圧縮できる項目については検討していくが、50万バーツを目安として、進めていく。高野山金剛峰寺国際局・タイ国開教留学僧の会とも連携をとり実施していくことにしている。

(8) 食堂運営委員会 (石井理事)

- ・1月の食堂運営状況について報告した。

(9) 学校代表 (藤原校長)

- ・1月15日(水)～17日(金)に8年生のシンガポールへの修学旅行を実施した。
- ・3月8日(土)に卒業式を実施する。

(10) 国際交流基金代表 (栗山所長)

- ・日本人会に後援いただいた日本映画祭は順調に上映中である。2月16日(日)までSamyan Mitrtown内にあるHouse Samyanにて開催しているので、是非ご来場してほしい。

(11) 会報・広報部 (事務局)

- ・ワム、パノーラ、タイ自由ランドの無料情報誌3誌に掲載する広告を紹介した。
- ・1月のホームページアクセス状況は、訪問数10,029、閲覧数23,130で、LINE配信した日の閲覧数が高くなった。前年同月比は、訪問数111.2%、閲覧数111.1%、前月比は、訪問数127.3%、閲覧数138.7%であった。タイからの訪問数は65.0%、日本からは27.5%。前月と比較し、タイからは27.7%、日本からは28.4%増加している。日本からの閲覧は、東京、大阪、神奈川、愛知、埼玉の順に訪問があった。
- ・LINEは8回の配信、登録者は前月より75名増加し、8,415名。(有効者数4,269名)
- ・Facebookは41回の投稿、登録者は前月より変わらず、3,798名。
- ・Instagramは42回の投稿、登録者は前月より54名増加し、2,205名。
- ・X(旧Twitter)は16回投稿し、フォロワーは前月より9名増加し、1,378名となっている。

(12) 青少年部 (事務局)

- ・1月の活動について報告した。バスケットボールサークルが1月11日(土)に新年初打ちフリー

スローイベント、19日（日）に練習試合（対SSA）、茶道サークルが18日（土）にお抹茶立て体験会、バレーボールサークルが19日（日）に練習試合（対ISB）を行った。

・2月の活動予定について報告した。茶道サークルが2月22日（土）にひな祭り茶会を開催予定である。

（13）婦人部（事務局）

・1月の活動について報告した。1月21日（火）に定例会、28日（火）にJTBタイランド様ご協力のもと、バスツアー『たーれっくさんとタイのお寺に行ってみよう』を開催し、36名の方にご参加いただいた。タイ在住の漫画家・たーれっく氏ならびにJTBガイドの方に務めていただき、バンコクのお隣のナコンパトム県にある、世界最大・高さ120.45mの仏塔『プラパトムジェディー』、写真映えとして人気のドラゴンテンプルことワット・サーンプラーン、講師のたーれっく氏オススメのワット・ターマイを訪れ、昼食には名物の火山エビを参加者の皆様に召し上げっていただいた。本イベントをもって婦人部主催でのイベントは終了となる。

（14）事務局報告

・別館のエアコン入替工事について、工事スケジュールの進捗を報告した。1月11日（土）ファンクションルーム3、12日（日）、事務局、13日（月）ミーティングルーム・小会議室、20日（月）にファンクションルーム1、28日（火）にファンクションルーム2の入替完了。2月19日（水）と20日（木）に子ども図書館、24日（月）と25日（火）に一般図書館の入替を行う予定である。

・2月23日（日）のJCC70周年記念事業における日本人会協力体制について報告した。飲食ブースエリアに日本人会ブース（The Japan・会員有志）を出店。歌謡コーラス・ジャズ研究会、ブラスバンドサークル、剣道サークル、女性コーラス、盆踊り有志の方々がステージに出演。事務局も日本人会ブースの設営・当日の手伝い、盆踊りの輪の中心の踊り手などで協力できる体制をとっている。

10. 1月度理事会議事録承認

→異議なく承認された

11. 理事会出席者（敬称略、順不同）

島田会長、室賀副会長、米増、油井、小田原、石橋、神原、奥森、熊本、大内、澤田、安江、河村、田中、土田、石井各理事、宮口、井原各監事、成瀧在タイ日本国大使館領事部長、藤原バンコク日本人学校校長、森下JETRO代表、栗山国際交流基金所長、藤原報道代表、猪股氏、長縄氏、江草氏、太田氏、事務局（村上・松田・松浦）